

# たすけ愛♡はしもと だより

発行 橋本市社会福祉協議会 〒648-0072 橋本市東家 1-3-1 TEL33-0294

第10号  
平成30年11月

全国的に高齢化が進んでいて、橋本市も高齢化進んでいます。そんな中、これからも安心して橋本市での暮らし（生活）が続けられるようにするためには、いざという時に駆けつけてくれたり、ちょっとしたお手伝いを頼めるような身近な地域の助け合いが必要です。

市では現在、市内10地区において地域づくりの基盤となる「協議体（井戸端会議）」を設置するための準備会を開催しています。



市では、平成29年度から、地域づくりの基盤となる「協議体」（第2層協議体）設立に向けて取り組んできました。現在、7地区で協議体が設立し、地域の方々から選任された、生活支援コーディネーターを中心に運営が進められています。

今回、初めて各地区の生活支援コーディネーターの方々にお集まりいただき、コーディネーター同士のつながりを深めるため交流会を開催しました。

あっという間に時間が過ぎるほど熱心に語り合っていました。参加してくれた方々からは、「他の地区の活動状況を直接聞くことが出来た。自分の地区でも参考にしたい」「地域にある既存の団体とも連携しながらメンバーも増やしていきたい」「コーディネーター同士顔や名前も知れて良かった」など、たくさんの感想をいただきました。各地区の取り組みへとつないでいただければと思います。

ご出席いただきました、コーディネーターのみなさん、お忙しい中、本当にありがとうございました。



（裏面へ）

# 地域づくり活動紹介① 「ささえ愛高野口」

市内7地区で、それぞれの地区にぴったりの、支え合い・助け合いの地域づくりが進められています。

今号では、橋本市で第1号に発足（平成29年12月7日）した高野口地区「ささえ愛高野口」の取り組みを紹介します。

メンバーは、区長、老人クラブ、げんきらり〜、赤十字、一般の方々25名で構成されています。

コーディネーターから「まずは、お年寄りの生活状況や何に困っているのかを把握すること、そして「たすけ愛高野口」のことをたくさんの人に知ってもらうことが大切」という提案があって、メンバーでしっかり話し合いを行い、70歳以上の方を対象（約1,240人）にアンケートを実施することになりました。

まずは、毎年、高野口駅前通りで開催されている「高野口歩行者天国」に出店参加し、メンバーから啓発用ティッシュとアンケートも併せて約1,000個を配ることができました。

10月下旬にアンケートを実施しました。発送や回収には、地区の強みである区・自治会にご協力いただきました。同地区は44自治会があって、昔からのつながりも強いです。このことにより、自治会長や班長にも「たすけ愛高野口」の活動の啓発と理解にもつなげていくことができます。アンケートは11月中旬頃に回収する予定となっています。地域にお住まいのお年寄りの声



当日参加されたメンバー。後列左端が廣岡コーディネーター。後列左から2番目が久保コーディネーター。

大勢の方が参加され賑わう会場。メンバー全員、お揃いのベストを着て、啓発用ティッシュとアンケートを配布しました。



を聞くことで、「たすけ愛高野口」の道標が見えてくると思われます。廣岡コーディネーターは「助け合いの心をもって、何でも前向きに、楽しく・魅力ある取り組みにしていきたい」、久保コーディネーターは「次は人材（担い手）の発掘・育成に取り掛かる必要があるので、みんなで知恵を出し合いたい」と話されていました。各コンビのコーディネーターを中心に、メンバーのみなさんと一緒に取り組まれている「たすけ愛高野口」の今後の取り組みが楽しみです。